



たくさんの来場者でにぎわいました

今年、イイベントも多数行われ、高校生レストランとして知られる三重県相可高校の生徒と能代松陽高校の生徒が、八峰町産のナシとブドウを使ったスイーツを振る舞いました。

また、ご当地バーガーフェアが開催され、本町のハタハタメンチカツバーガーや深浦町のマグカツドックなど各地の特色ある屋台には多くの来場者が列をつくりました。

そのほか、ご当地バーガーフェアが催され、本町のハタハタメンチカツバーガーや深浦町のマグカツドックなど各地の特色ある屋台には多くの来場者が列をつくりました。

**食欲の秋を満喫
はっほうんめものまつり**

10月10・11日の2日間にわたり、9回目となる「はっほうんめものまつり」がポンポコ山公園で開催されました。

9月から10月にかけて、沢目子ども園、八森子ども園、埴川子ども園で運動会が行われました。

このうち、八森子ども園の統合後初めてとなる運動会では、アニメのキャラクターのお面をつけた園児が大玉をころがし、敵に見立てた的にぶつけるリレーなど、趣向を凝らしたユニークな競技が行われました。

また、おゆうぎでは日頃練習した踊りを元気いっぱい披露し、この日訪れた来賓や父兄のほか、地域住民の方を楽しませました。

さまざまなプログラムで園児たちが一生懸命がんばっている姿に、会場からは温かい声援が送られました。



元気いっぱい踊ったおゆうぎ

**園児のがんばっている姿に声援
町内子ども園で運動会**



収益金への思いを伝える安保さん

10月1日、空き缶回収収益金の贈呈式が峰浜中学校で行われました。

峰浜中学校では、生徒会のJRC委員会を中心にさまざまなボランティア活動を行っています。今回の収益金はスチール製の空き缶を回収し、業者に引き取ってもらって得たもので、合計23,512円になりました。

JRC委員長の安保光平さんは、「八峰町の福祉の向上に役立ててください」と話し、町社会福祉協議会の森田会長へ収益金を手渡しました。

受け取った森田会長は、「支援を待っている方に喜んでもらえるように使いたい」と感謝の言葉を述べました。

**空き缶回収収益金を贈呈
峰中生から町社会福祉協議会へ**

10月11日、八森小学校で学習発表会が行われ、児童たちは劇や合唱などを披露しました。

和太鼓クラブの4・5年生による演奏で幕を開け、各学年の児童がこの日のために準備・練習してきた歌や劇などの成果を発表しました。

6年生は「14年後の同窓会」と題して、自分たちが現担任教師の年齢になった時の同窓会を想像し、劇で披露しました。将来の自分が何をしたいのか一人ひとり話したほか、修学旅行で訪れた函館の思い出ベスト5を発表しました。

全ての学年の発表が終わると、全校合唱を2曲歌い、元気な歌声を会場に響かせました。



大きな歌声が会場に響きました

**地域の皆さんに日頃の成果を披露
学習発表会が開催されました**

日本地球惑星科学連合2015年大会及び2015年度日本ジオパークネットワーク通常総会

日本地球惑星科学連合2015年大会が、5月24日～28日の5日間の日程で、千葉県「幕張メッセ」を主会場に開催されました。日本のみならず世界ジオパーク関係者やジオパーク関連企業等が一堂に会し、論文発表やポスターセッション、関連商品の出展などが行われました。

今大会での総セッション数は189件、論文発表数は4037件で、当ジオパークからは工藤英美顧問兼研究専門員及び事務局員が5月24日のポスターセッションに参加し、世界自然遺産「白神山」を有する珍しいジオパークとして、白神山(ジオ)からもたらされる恵みに加え、町の観光情報など、多くの来場者にPRすることができました。

また、5月25日には2015年度日本ジオパークネットワーク通常総会が、同じ千葉県「ワールドビジネスガイデン」において開催されました。

2014年度の事業報告や収支決算、2015年度の事業計画や収支予算の議事が行われたほか、2016年度全国大会開催地域決定の報告や、ユネスコジオパークの正式プログラム化に向けた周知活動について検討が行われました。

※ポスターセッション:
研究内容をポスターにまとめて掲示し、発表者が参加者に説明するもの

第4回東北ジオパークフォーラム

8月28～29日の日程で、岩手県久慈市を主会場に開催されました。当ジオパークからは、会長をはじめ、ガイド、観光協会及び事務局関係者等の総勢9名が参加し、分科会における情報交換や、それぞれのジオパークでの問題点について話し合いが行われました。



2日目に行われたエクスカージョン(ツアー)では3コースの内、2コースに分かれて、ジオを活かしたツーリズムの現状を視察しました。久慈市は「琥珀」やNHK連続ドラマの「あまちゃん」が有名で、ジオパークと関連させたジオツーリズムの先進地であり、今後の当地域におけるジオツーリズムの参考になる部分が多く見受けられました。特に、ジオに対する住民の

意識が高く、積極的に参加する姿勢に、改めて町民の皆さんのジオに対するご理解が大変重要だと感じました。

※ツーリズム：旅行業、観光旅行の意

再認定審査に向けて

4年に一度の日本ジオパーク委員会による再認定審査が1年後に迫っており、当協議会においても、認定時に与えられた課題の克服を中心に準備を進めています。ところがこの11月に世界ジオパークはユネスコの正式なプログラム(世界遺産と同等)になる見込みであり、このことが日本ジオパークの再認定審査に与える影響は少なくないと考えられます。実際に今年5月、幕張メッセで行われた日本ジオパークネットワークの会議では認定審査の基準について様々な意見が飛び交い、今なお流動的です。我々事務局も最新の情報をしっかりと把握しつつ、地に足の着いた準備活動をしていきたいと思

ますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆様はじめまして

今年の4月から推進協議会の事務局で勤務している日沼久人と申します。京都市から両親の故郷であるこの八峰町に移住し、もうすぐ3年がたとうとしております。京都では昆虫(カイコ)の研究に携わっておりました。ですから地質や地形に深く関連するジオパークの活動は完全な畑違いの分野にありますが、少しずつ学んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

八峰白神ジオパーク推進協議会事務局
〒0182632
秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっコンド内
TEL 018517713086

平成27年度あきたジオパーク情報発信強化事業(秋田県)

入場無料

あきたのジオパーク
入門セミナー
in 能代

日ごろの生活の中で「大地の恵み」を感じたことはありませんか?
ジオ(大地・地質)に関心し、ジオを楽しむ学ぶ場所、それが「ジオパーク」です。全国に33か所あるジオパークのうち、秋田県には「栗山(半島・大曲)」「八幡白神」「ゆざわ」の3か所があります。この入門セミナーでは、能代市にある「八幡白神ジオパーク」を中心に、参加者の皆さんにジオパークのことを楽しく学んでいただきたいと思

日時 平成27年11月21日(土)
13:30～16:30(受付13:00～)

会場 能代山本広域交流センター

講師 「ジオパークってなんですか?」から始まった八峰白神ジオパーク
講師 工藤英美(元)八峰白神ジオパーク推進協議会 顧問(研究専門員)
菅江真理とめ(元)「八峰白神ジオパーク」
講師 永井登志雄(元)山本広域交流センター 事務局

主催 秋田県(委託/NPO法人あきた地域資源ネットワーク)

